

北性研

No.50

編集 北海道性教育研究会

事務局

札幌市中央区南21条西5丁目

札幌市立柏中学校内



札幌市立柏中学校
校長 富川 浩

昨年度の北海道性教育研究大会「上川・旭川・留萌大会」は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止を余儀なくされました。今年度の研究大会につきましても、開催自体とともに、開催方法についても判断に迷うところがありましたが、令和4年11月26日に、ホテルライフオート札幌を会場に、「会場参加」と「オンライン参加」を併用して開催することができました。

大会主題を『豊かな人間性を支える性に関する指導』とし、副主題を「意思決定と行動選択ができる子どもの育成」と掲げ、小学校・中学校における実践発表とその研究討議、さらに、SOGI-Mami's代表の高橋愛紀様の講演会を行いました。

全国的に「コロナ禍」が継続する中で、全国性教育研究団体連絡協議会（全性連）の6ブロックで、研究大会を開催することができたのは、北海道ブロックのみであったという話も聞いております。改めまして、関係各位の多大なるご尽力に、心より感謝申し上げます。

さて、本研究会は昭和46年5月に、北海道における性教育の一層の推進を図るため、道内の性教育実践校が中心となり設立されました。

性教育は、人間尊重の精神から男女を理解し、正しい人間関係を認識させ、子どもたちに健全な社会や家庭の建設を可能にさせる教育であり、人間の一生を通じて健全な人格形成を促す教育です。本研究会においては、「学校教育における性教育」「小・中・高の一貫した性教育」「豊かな人間性」「生きる力」などをキーワードに、実践的な研究活動を続けてまいりました。

現在は、子どもと若者の性に関する様々な社会問題が山積しております。性に関する規範意識の低下や、逸脱行為の広がり、ICTの普及による性的被害、デートDVによる人間関係のトラブルの増加などが挙げられます。加えて、先の東京オリンピック・パラリンピックを契機に、「人権」とともに「多様性」の尊重にも注目が集まり、学校教育としても性の多様性への対応が求められつつあります。

そのような中、教育課程内の性教育では、性を人権として認め合い、人間関係を培うことを目指す上で、その意義をしっかりと認識し、生命尊重、男女平等の精神に基づく望ましい異性観や適切な人間関係を身に付けさせることがより求められております。そのため、望ましい人間関係の構築や適切な意思決定の能力を身に付け、子どもの発達段階に配慮しながら、各教科等をはじめ学校教育全体を通して、意図的・計画的に指導・実践することが大切であると考えます。

今年度の研究大会は半日日程で、例年に比べて縮小しての開催になりましたが、真摯にご協議をいただきました参会の皆様が、それぞれの地域にその成果を還元することで、性教育の確かな取組が各地に広がっていることを確信しております。

令和4年度は、札幌市立柏中学校での公開授業を中心とした全道大会開催に向けて準備を進めておりますが、一度は収束に向かうかと思われた新型コロナウイルスの感染は予断を許さない状況です。今後の感染状況によっては、公開授業が難しい社会情勢になることも十分に想像されます。その場合には、学校を会場とすることが困難になるかもしれませんが、何らかの形で各地・各校の性教育の実践を交流する機会を設定していきたいと考えています。「第50回 札幌大会」の開催に向けまして、今後もお力添えを、どうぞよろしくお願いいたします。

第49回大会（札幌大会）の報告

○令和3年11月26日に大会研究主題を「豊かな人間性を支える性に関する指導」として、ホテルライフオーブ札幌を会場に小・中学校の実践発表と、SOGI-Mamii's代表 高橋愛紀氏を講師にお招きしての講演会を実施しました。

(1) 札幌市性教育研究会の実践から

札幌市立北都小学校 矢留 茂和 教諭
令和2年からのコロナ禍の状況で、参集しての授業研究が困難になっていることで、令和元年に行われた授業についての発表でした。



①札幌市立新琴似西小学校 3年2組の授業

【題材名】友だちのよさを認めるために

【本時のねらい】

学級の人間関係の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付ける。友達の意見を参考にしながら、クラスのみならずとより仲良くするために、どのようなことができるか具体的なめあてを意思決定していく。

②札幌市立新琴似西小学校 5年1組の授業

【題材名】同じでちがう「命の尊さ」

【本時のねらい】

生き物が「同じでちがう」存在であるというメッセージをとおして、人や生き物が「同じでちがう」ことがなぜ素晴らしいのかを考えさせ、一人一人が「ちがう」という不思議さや魅力の中で、人間として尊重し合い、それぞれの命を大切にしていこうとする判断

どちらの授業も「性」を真正面から取り上げている授業ではありませんが、性別にかかわらず、他者と望ましい人間関係作りができる力や、すべての人が共同して社会に参画する態度の育成、適切な意思決定とともに行動選択ができる力を育むことを目指したものでした。

発表では授業の映像を適宜放映しながら、実際の生徒の反応や、真剣に学習に取り組む子どもたちの様子が紹介されました。

また授業者の先生からの授業を振り返っての「ビデオメッセージ」も寄せられました。

【参会者の感想】

- ・性教育というと難しく考えてしまう部分があるが、今回の2つの実践発表を聞いて「性教育は生き方教育」という考え方がよくわかった。教師側が、必要以上に身構えることなく、いろいろな題材で「性教育」を意識していくことが大切だと思う
- ・「見た目」には関係なく、「命」があるものとして一人一人の人格を尊重していくことが大切ということがわかった。いろいろな場面で子どもたちに「人間として尊重をしていく」ことを考えさせるようにしていきたい。
- ・継続的に性教育を研究し、実践している「札幌性研」の活動に敬意を表したい。自分の住んでいる地域では、研究団体もなく、なかなか性教育に携われないのが実態である。



(2) 札幌市立柏中学校の実践から

札幌市立柏中学校 澤田 恵太郎 教諭

【柏中学校の性教育】

『性教育は生き方教育』を合言葉に、「総合的な学習の時間」を中心に、子どもたちがテーマを追究しながら、自分の考え方がもてるような取組を行っている。性教育の実施に当たり「性意識・性行動実態調査」を生徒・保護者を対象に3年おきに実施して、その結果を分析しながら教育課程の編成に反映させている。

【令和3年度の変更点】

総合的な学習の時間の2年生のテーマとして、令和2年度までは「男女のかかわり方を考えよう」としていたものを、今年度は「多様な性とのかかわり方を考えよう」に変更した。LGBTQ+などが社会的にも関心を集めていることもあり「男女」という考え方を学校としても変えていく必要性を感じたからである。



【講演会の実施】

活動の「動機付け」の段階で、外部講師を招き講演会を実施している。今年度も「助産師による生命誕生の尊さ」「NPO法人によるデートDV防止講座」などを行った。

【学年発表会】

各学年 10 時間程度の調査活動を経て、発表会が行われた。「LGBTについて」「ストーカー被害に遭わないために」「海外の恋愛事情」などの小テーマを設定し、自分の考えやこれからの行動について発表をした。

学校として、長年に渡り性教育を教育課程に位置付けた取組や、動画で紹介された生徒による質の高い発

参加者が自校で実践するための留意点などについての質問も出され、他校の参考となる実践発表でした。



(3) 講演会

【講師】 SOGI-Mamii's 代表 高橋愛紀氏

【演題】 知ることからはじめよう

～LGBT's から SOGI の概念へ～

【講演の内容】

①LGBTQ+の考え方について

性の概念について、「体の性」「性的思考」「性自認」「体の性」をそれぞれ考えると、人間の性は最低でも24種類に分かれることを「性の樹形図」を使って、丁寧な説明をいただきました。

②学校における必要な配慮

SOGI の概念（自分自身をどのような性だと認識しているのかという状態を指す概念）に基づいたときに、現在の学校で求められる対応についてのお話をいただきました。実際の体験者の話を交えながら「多目的トイレの活用方法」「プール授業での配慮」「更衣室の問題」「修学旅行での部屋割り」などについて、具体的に興味深い話を聞くことができました。

③自分自身の子育ての経験から

講師の「長男」（戸籍上は女性）である第1子が、カミングアウトしたときの話を中心に、親が受け入れることの大切さや難しさについてのお話でした。お子さんが小さいときから抱いていた、漠然とした「違和感」や、親としてわが子を認めるまでの葛藤について、実体験を交えながらの貴重な体験談でした。

今後は、保護者の理解を深めるために、学校での講演活動などを、積極的に行っていきたくと締め括っていました。

(4) 閉会式から (富川会長あいさつ)



研究大会に先立って行われた理事会におきまして、コロナ禍で地域によっては、実践的な研究が進まない現状が報告されました。従来は、北海道内を6ブロックに分けて、ブロック輪番制で全道大会を毎年開催してきましたが、各地域の実情を鑑みて、次年度の第50回北海道性教育研究大会は、今年度に引き続き「札幌大会」とすることが決定しました。

北海道性教育研究会が積み重ねてきたこれまでの成果を受け継ぎいだ大会になるよう、準備を進めてまいります。

令和4年度の活動について

【全道大会】

- 第50回北海道性教育研究大会 札幌大会
- ・日時：令和4年11月9日（水）
- ・場所：札幌市立柏中学校
(または ホテルライフオート札幌)
- ・内容：公開授業 実践発表 研究討議 講演会
- ・備考：新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催場所や内容については変更する場合があります。

【第1回理事会】

- ・日時：令和4年6月11日（土）
- ・場所：札幌市立柏中学校（会議の開催形式はオンラインの場合もあり）

【全国大会】

- 第50回記念 全国性教育研究大会
- ・日時：令和4年8月4日（土）・5日（日）
- ・場所：日本教育会館（東京都千代田区一ツ橋2-6）

・内容

<1日目>

基調講演 記念講演 特別講演
パネルディスカッション

※記念講演講師は、フィンランド在住のトニミ・パーラネン氏を予定

<2日目>

発達段階別分科会 課題別分科会

【事務局から】

新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度に引き続き、令和3年度も多くの活動が制限されました。しかし、第49回札幌大会を開催することができ、オンラインでの理事会など、新たな試みにも、試行錯誤しながら取り組むことができました。各種会議の「オンライン化」が進む中、第49回大会を「会場参加」と「オンライン参加」を組み合わせたハイブリット型で実施できたことは、大きな成果であったと考えます。

北性研としての活動は、令和4年度も縮小せざるを得ない状況も予想されます。各地区では、創意工夫を凝らした活動を継続しているとお聞きしております。子どもたちの健やかな成長のためにも、このような時代だからこそ「できることから始める」の意識を大切にして取り組んでいけたらと考えています。

なお、小樽支部から「令和4年度から当面の間休会」をいただきました。会員の減少が切実な地区もあると聞いていますが、今後も「持続可能な活動」をよろしく願いいたします。

【北海道性教育研究会 事務局】

札幌市立柏中学校内

事務局長 美田 学秀（教頭）

TEL (011) 521-2341

FAX (011) 521-2343

電子メールアドレス norihide.mita@city.sapporo.jp

